

山城文盛寄贈資料
生まれじまの記

具志川市教育委員会
市史編さん室

発刊にあたって

人はいろいろな出会いや体験を通じて生を享受し、それぞれのライフヒストリーを形成していきます。一人の人間がこの世に残せる痕跡は微々たるものですが、それでも精一杯生きたあかしはどこに残るものです。

山城文盛さんの存在を知りきっかけとなったのは、比屋根勉助役が、市史編さん室に提供していた「生まれじまの記」を通じてであります。この原稿は、生まれじま字宮里のことを回想してたためられたもので、大綱引き、全員の意思決定のしるしとしての「総御礼（スーグリー）」と呼ばれる慣例の存在、村芝居などのほかに、クーリブキと呼ばれる場所の排水溝工事の顛末などが記されており、いまとなつては往時の字宮里を知る貴重な資料となっております。

市史編さん室ではいろいろな情報を得る目的で、山城さんと連絡をとり、直接、東京の自宅にお伺いする機会を得ました。そして、山城さんがこれまで大切に保管してこられた貴重な写真資料は、具志川市史の編集に活用できるのであればと、快く寄贈していただくことになりました。

山城さんは、師範学校を卒業されたあと教職に就かれたり、昭和初期の土木事業にも参画なされ、その後ペルーに移民された経歴の持ち主で、それぞれの時代と場所で撮影された写真は、市史編集にとつてきわめて貴重な資料となっております。

ご本人にとってこれまでの人生を語る大切な写真資料であるにもかかわらず、具志川市史編集のためにと寄贈していただいた山城文盛さんには、心から感謝を申し上げる次第であります。

最後に、この編集資料はとくに字宮里にとってはかけがえのないものでありますが、ある特定の間を通じて、その地域の歴史の一こまを理解する資料としての貴重なサンプルになりえると確信しております。大いに活用されんことを希望するものであります。

平成五年九月

具志川市史編さん事務局

目次

発刊にあたって

目次

凡例

山城文盛氏の周辺

嘉陽妙子 (1)

生まれじまの記

山城文盛 (5)

写真資料

①師範学校時代

(29)

②与勝時代

(34)

③ふるさとあれこれ

(36)

④ペルーでのこと

(42)

⑤米国収容所でのこと

(54)